

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年9月11日(水) 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 報告
日程第4 報告第10号 専決事項の報告について

会議に付した事項 会議日程と同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子
(教育委員)
教育長職務代理者 加賀爪 毅
委 員 金 丸 公 一
委 員 中 筋 斉 子
委 員 小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

部 長	伊 賀 和 彦	副 部 長	上 道 貴 志
教育支援センター長	市 橋 公 也	教育総務課長	栗 田 益 典
学校教育課長	吉 田 秀 平	教育支援課長	福 山 誠 一
源氏物語ミュージアム館長兼歴史資料館長	西 澤 久 美 子	教育総務課副課長	吉 川 貴 之
学校教育課総括指導主事	石 田 京 美	歴史資料館主幹	小 嶋 正 亮
大久保青少年センター館長	山 森 浩 平		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加 藤 冬 子	教育総務課主任	前 田 圭 祐
-------------	---------	---------	---------

開 会 (午後6時00分)

開会宣言 教育長が9月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、加賀爪委員を指名する。

日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(令和元年9月4日)
大久保青少年センターの移転について
- (2) 歴史資料館 特別展について
- (3) 宇治市教育委員会後援事業について

以上3件を報告する。

[説 明]

(1) 文教福祉常任委員会について(令和元年9月4日)

大久保青少年センターの移転について

大久保青少年センターについては、廃園後の大久保幼稚園を一部改修し、令和2年の夏頃を目途に、当該施設へ移転する。移転に伴い、条例を改正するにあたってセンター設置の目的について、生涯学習の振興に寄与することを目的とするということを加えた。

委員からの主な質問は、「青少年センター」という名称は今後どうしていくのかというもので、青少年の活動が主であり、加えて大人も利用できるようにすることから、名称の変更は考えていないと回答した。

また、生涯学習の施設になるということについて、インパクトを与えるべきではないのかという質問には、今後、生涯学習をどのようにしていくのかという議論がある中、今回については耐震の課題の解消が目的であるので、今後検討していくと回答した。

他に、使用料の有無、改修の内容、条例の改正の中身等についての質問に回答した。

(2) 歴史資料館 特別展について

現在、京都とその近郊を走る電鉄会社は、明治43年(1910)京阪電車、大正2年(1913)京阪宇治線、昭和3年(1928)奈良電車(現・近鉄京都線)など、全て100年前を中心とした約20年間に相次いで開業したものである。電鉄各社や沿線の市町村は、観光客の誘致に努め、宇治では大正8年(1919)に開場した菊人形をはじめ、鶺鴒の復活や宇治川ライン遊覧船が就航していた。そして、昭和7年(1932)宇治町は、観光課を設置する。同様の課は、翌8年段階で京都市や奈良市など全国に5市町しかなかった。

本展では、明治末期から昭和前期にかけて、次々と誕生した電車路線と沿線の観光名所について、カラフルな沿線案内パンフレットや、パノラマ地図、写真などを一堂に展示し、宇治を始めとする京都名所を紹介する。

会期は9月28日(土)から12月1日(日)まで。

会期中に関連事業として、記念講演会や歴史講座、ギャラリートークを実施する。

(3) 宇治市教育委員会後援事業について

宇治市社会福祉協議会主催の2019宇治福祉まつり他5件、計6件の事業について後援した。

日程第4 報告第10号 専決事項の報告について

[説明] 本件については、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第4号の規定に基づき専決処分を行い、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第2項の規定により報告するものである。

専決8号宇治市就学指導委員会委員の委嘱について、槇島ひいらぎこども園の委員が退職したことに伴い、新たに1名の委嘱を決定した。

尚、前委員の任期を引き継ぎ、令和2年4月30日を任期とする。

[質疑] なし

閉会宣言 教育長が9月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時10分)

